

2019年度 上田市立第一中学校の「学校自己評価」について

学校教育目標 「体力・気力・知力を兼ね備えた人間性豊かな生徒の育成」	
2019年度の重点	<p style="text-align: center;">【今年度の重点目標】 ～自己肯定感を育み、自信・誇りを持つために～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学力の保障 「放課後学習の充実、発展」「学び合いの場の位置づけ」「家庭学習の充実」 ○ 集団適応力の育成 「全校体制での道徳・人権学習の取組」「体験活動の充実」「小中連携」 ○ 個に応じた自立に向けた支援 「つきたい力の明確にしたキャリア教育」「特別支援教育、外国籍生徒支援の充実」「部活動指導の変革」 ○ 安全・安心な学校づくり 「情報教育を中心とした危機管理の意識向上」「生活重点の徹底化」

	評価項目	評価の観点
教育活動	学力の保障	ねらい（学習問題・課題）は明確か、学習意欲を高める発問、板書、教材の工夫がなされているか。【質問1】
		日々の授業において集団の人間関係や関わり合いを大切にし、生徒が自らの意見を発表する場が設定されているか。【質問2】
		自己評価場面（振り返り、定着・発展問題）の時間を十分確保し、生徒の学びの姿を見とどけることができているか。【質問3】
		「紡ぐ」を活用し、家庭学習のあり方を具体的に提示し、予習・復習の定着が図られているか。【質問4】
		生徒たちの健康・自分づくりのために、一校一運動（大縄跳び）や徒歩による登下校の励行等、継続して体力向上に取り組んでいるか。【質問5】
	集団適応力の育成	活動において友達の考えや意見をしっかり聴き合う場を位置づけたり、「関わり合う」場面を大切にしたりした取組がなされたりしているか。【質問6】
		生徒会活動等と連携し、学校や地域でもあいさつをする態度が身についているか。【質問7】
		身支度や無言清掃などの徹底を促し、生徒が精一杯清掃に取り組もうとしているか。【質問8】
		学級活動や道徳教育を通して、生徒は生活のきまりや生活の重点を守って生活しようとしているか。【質問9】
	個に応じた自立に向けた支援	一人一人の個性やよさを大切にして、キャリア教育（交流教育、職場体験学習、進路学習等）を推進しているか。【質問10】
		保護者と共に生徒の健康状況に留意したり皆勤や精勤を評価したりしながら、生徒たちが休まずに登校できるよう支援をしているか。【質問11】
		生徒の思いや健康・学習状況の両立を図りながら、部活動等への積極的・効率的な参加を促したり、生徒の取組を勇気づけたりしているか。【質問12】
	安全・安心な学校づくり	生徒の願いを受け止め、また、個々のよさを認め、生徒が安心して学校生活を過ごすことができているか。【質問13】
		学年・学級PTA、学校支援ボランティア、各種通信や学校HP等を活用し、地域に開かれた学校づくり（情報発信、交流活動、何でも言い合える雰囲気づくり等）をしているか。【質問14】
		危機管理、安全教育等の意識向上や環境整備の充実が図られているか。【質問15】

※評価基準は、アンケート回答：75%以上でA、55%以上でB、40%以上でC、それ未満をDとする予定です。